

## 5. 実現するために直面した課題

### (1) 日本が直面するCO<sub>2</sub>削減の課題

地球温暖化の進行を抑えるため、世界各国は「カーボンニュートラル（温室効果ガス実質ゼロ）」の達成を急速に推進しています。日本も2020年に「2050年カーボンニュートラル」を宣言し、2035年度までに2013年度比で60%、2040年度には73%という中間目標を掲げていますが、その道のりは決して平坦ではありません。CO<sub>2</sub>を削減し2050年カーボンニュートラルを達成するには多くの課題を克服しなければなりません。その中でも日本固有の課題を4つ挙げます。

#### 1) エネルギー構成の化石燃料依存

日本のエネルギー供給は、現在も火力発電（特にLNGや石炭）に大きく依存しています。再生可能エネルギーの比率は年々上昇しているものの、電源構成の4割超が依然として化石燃料に支えられており、エネルギー転換は喫緊の課題です。

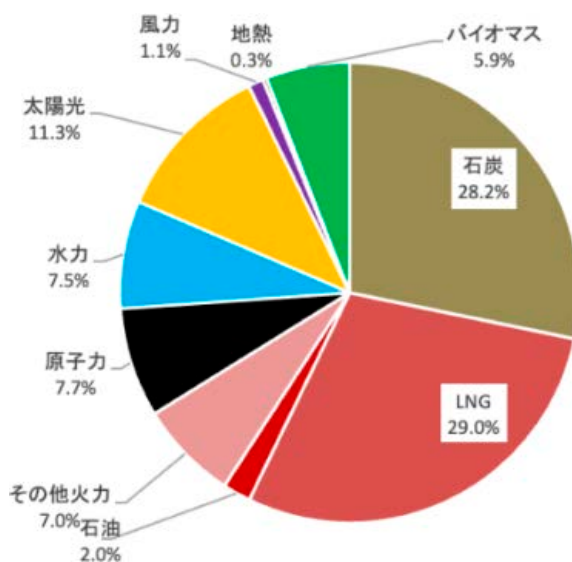


図32 日本国内の電源構成（2023年度の年間発電量）  
 （経済産業省\_\_資源エネルギー庁HP「電力調査統計」より引用）